



ギ

……君が
次の使用人希望の子か



その正体は
妖狐であると目され
使用人を次々と
雇っては食い物に
していると聞く

田中一男と
名乗るこの男…
貿易商であり、
国にも太い繋がりを持つ
大富豪…だが



妖狐は異性を
たぶらかすプロだ

慎重に奴の
動向を探る
必要があるな…

よろしくお願ひします



あ……っ
は……っ

この媚薬は
体に染み渡り
体の感度を体質から
変えていく

これくらいのこと
根を上げるようでは
先が思いやられるよ

我が家の使用人になるには
まず身体を私好みに
調教するところから
始まるんだ

私を悦ばせるための
極上のメスに仕上げる

まずは一日かけて
じっくり媚薬を体に
塗り込む

心配しなくていい
今は嫌悪していても
最後には喜んで
自ら体を
差し出すようになる



次は胸の開発だ

乳首だけでなく
胸全体を開発する

乳房が中から
だんだん温かく
なってきたら
母乳が出る前兆だ

ただ母乳を吹かせるのは
少し難しくてね

雌牛のごとく
母乳を吹き出せるように
なればひと段落だ

君が気持ちよくなったら
だらしなく母乳を吹き出す
雌牛であると
自覚しなければ
母乳を吹かせることが……

ああいや
杞憂だったかな

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

びゅるるるるる
ぎゅ

次は子宮の開発だ

ここを気持ちよくされると
自分がメスであること
より意識してしまうだろう？

皆ここまでの調教で
発狂してしまうのだが
君は素晴らしいね

体力や精神力が
今までのメスとは
桁違いだ

子宮の開発は
特に力を入れる
ここの開発度合いで
女性器の具合は
大きく変わるんだ

容姿やスタイルも
最高だが
メスとしてこれ程までに
完成された人間は
初めて見るよ

ギョ

ギョ



最後は精子風呂の中で
一晚過ごしてもらおうよ

メスとして
これ程脳を破壊される
シチュエーションも
中々ないだろう

精液の中に
自身の体が
とろけていくのを
じっくり味わいなさい

調教中

むせかえるほどの
濃い精液の匂いを
嗅ぎながら
全身で精液を感じるんだ



そして
いよいよ
最後の調教だ

さて
まずは
ご苦労様



ここまで
本当に長かった

まさかここまで
念入りにメスに
墮とされるとは

その格好も
悪趣味かなと思っただが
存外似合っている
じゃないか

ひら♡



だがこれ乗り越えなければ
こいつとの契約紋を用いた
性行為まで持ち込め
なかつただろう

しかし今回ばかりは
無理をしすぎたな



……ありがとうございます



勝てる気がしない

こいつの「おちんぼ様」を
見ただけで
私の体と心は屈服したくて
たまらなくなっている



メスとしての
自分に抗えない…
犯されたくて
たまらない

さて
本番の前に



!



ゴヨロ

契約紋を
刻みなさい

今から君は
自分の切り札によって
私に屈服するのだ

気づいてないと
思っていたのかね
私をあまり
舐めない方がいい

さあ刻みなさい

…かしこまりました

ホウ...

よろしい
では始めよう

この調教期間
君の秘部は
一度も触れられていない

そんなお預け状態で
一体どれ程
耐えられるかな？

いや…
もしかしたら

君は
負けることを
望んでいるのかな？

す...

くらっ

ド

ちる

ひい
ひい
ひい

ひい
ひい
ひい

びん

びん



はははっ
入れた瞬間に
イってしまったか

祓い屋も
所詮はメスだったな!

びん

びん



さあ我が奴隷よ
情けなく腰を
振りなさい

あああ！
気持ちいい♡

おちんぼ様
気持ちいいです♡

はははっ
よろしい
褒美に膣内に
出してあげよう！

はははっ……♡

あ、ありがとうございます♡

早く♡
ください♡

ダメだっ
ダメなのに……っ
何も……
考えられなくっ♡

どちゅ♡

どちゅ

どちゅ

妖狐の私が
こんな小娘に
イカされるなんてね

ホム...

これは
いいおもちゃを……

いびん

ド

ク

ま

ま



なぜ
今契約紋が
反応を……

ぐっ……

ま、まごか……っ

射精していただき
ありがとうございます



元ご主人様

そして
お世話になりました



……



全く恐れ入る
ここまで追い詰め
られるとはな
我慢しすぎて
脳が焼ききれるかと
思った……



絶頂は……

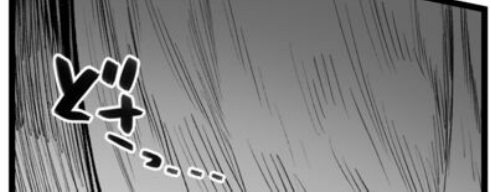


演技

か……

お前には
私の意識が飛ぶまで
犯し尽くして貰うぞ

おい起きろ奴隷
お前だけ満足するな



どっ……